

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	カウンセリング実務演習 I				
担当者氏名	岩岡 由香				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

カウンセリングの理論や技術をもとに、よりよい人間関係を育む力について考えます。心の発達に寄り添う援助の具体的な方法について実習を通して体験し、保育や教育の現場において生かせるコミュニケーションの力を養います。毎回の授業で、2人1組もしくはグループでの体験学習を行い、それらを通して自分について振り返る時間を設定しますので、積極的に参加する姿勢が求められます。

《授業の到達目標》

- ・ 相手を尊重して対応する心構えを学ぶ
- ・ 傾聴の具体的な方法を学ぶ
- ・ 保育や教育の現場での実践に生かす傾聴力について考える

《成績評価の方法》

平常点（ワークへの取り組み姿勢、発表など） 40%
 提出物（プリント、レポートなど） 40%
 期末試験 20%

《テキスト》

授業内で、資料等を適宜配布します

《参考図書》

参考資料・文献は、授業内で適宜紹介します

《授業時間外学習》

- ・ 学習したテーマについてふりかえり、実践に向けての方法を考察し、整理する
- ・ 出された課題について仕上げて提出する
- ・ 次のテーマについて調べてくる

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、カウンセリング実務経験に基づいて構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、学習目的と内容、評価方法 相談に応じる際の心構え 守秘について（グループワーク）
2	自己理解 1	対人関係におけるこころの構えを振り返る 体験学習（グループワーク）
3	自己理解 2	自分の価値観を振り返る 体験学習（グループワーク）
4	自己理解 3	対人交流における自分の傾向を知る 体験学習（ペアワーク）
5	自己理解 4	問題解決への志向性を知る 体験学習（グループワーク）
6	他者を理解するということ	相手の状況、考え、意図、心情を知り、理解したことを言葉で伝える 体験学習（ペア・グループワーク）
7	こころの発達とカウンセリング	コミュニケーションとこころの発達 対話を通して変化するこころの動きを考える（グループワーク）
8	さまざまな相談対応について考える	さまざまな相談スタイル、カウンセリングと日常的な相談ごとの違い、カウンセリングとコンサルティング（グループワーク）
9	はなす力 きく力	相談対応に必要なコミュニケーションスキル（グループワーク）
10	いろいろな聞き方	聞き方による心理的体験の違いを知る（グループワーク）
11	傾聴とは	傾聴の目的と効果、限界 受容と共感（グループワーク）
12	傾聴のためのスキル	聞き方の工夫 質問や要約の目的と効果（ペア・グループワーク）
13	傾聴スキルの実践 1	実践と振り返り（ペア・グループワーク）
14	傾聴スキルの実践 2	実践と振り返り（ペア・グループワーク）
15	まとめ	授業での学びを振り返り整理する